

令和元年7月1日

出雲市議会議長様

会派名 平成クラブ

代表者氏名 長廻利行



視察研修について（届）

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日程	令和元年7月8日～令和元年7月10日（3日間）	
2. 視察研修先 視察研修目的	北海道 旭川市	・ 議会運営の評価及び検証について - 外部からの評価及び検証方法 - 導入前後の経過 - 議会運営に対する効果
	北海道 登別市	・ 登別ブランド推進事業について - 事業経過及びブランドイメージ - マーケティング及びセールスの特色 - 地域産業及び経済に与えた効果
3. 参加者	長廻利行 ・ 宮本 亨 ・ 保科 孝充 ・ 西村 亮 原 正雄 ・ 渡部 勝 ・ 山内 英司 ・ 玉木 満 計 8 名	
4. 添付書類	1. 行程表	



行政視察行程表

ご縁の国しまね 縁結びのまち出雲

平成クラブ（出雲市議会）

No.	月日	行程			備考
1	7/8 (月)	出雲空港	JAL	羽田空港	
		7:45	276	9:10 - 10:30	
		JAL	旭川空港	旭川トーヨーホテル 昼食	
		553	12:10	13:10 - 14:10	
		旭川市役所	旭川 IC	札幌 IC	
		14:30 - 16:00	16:10	17:50	
		ホテルネット札幌 宿泊			
		18:00			
2	7/9 (火)	ホテルネット札幌	札幌南 IC	登別室蘭 IC	
		8:30	8:45	10:00	
		登別市役所	室蘭プリンスホテル 昼食	室蘭 IC	
		10:30 - 12:00	12:30 - 13:20	13:30	
		伊達 IC	洞爺湖有珠山ジオパーク	伊達 IC	
		13:45	14:00 - 16:00	16:10	
		登別東 IC	第一滝本館 宿泊		
		16:30	17:00		
3	7/10 (水)	第一滝本館	登別東 IC	苫小牧西 IC	
		9:30	10:00	10:40	
		支笏湖	郷土料理ユック 昼食	新千歳空港	
		11:10 - 11:40	12:20 - 13:20	15:00	
		JAL	羽田空港	JAL	
		514	16:35 - 17:15	285	
		出雲空港			
		18:35			

※ 陸路の移動は全行程ジャンボタクシー

令和元年8月9日

出雲市議会議長様

会派名 平成クラブ

代表者氏名 長廻利行 

視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日程	令和元年7月8日～令和元年7月10日（3日間）	
2. 視察研修先 視察研修目的	北海道 旭川市	・ 議会運営の評価及び検証について - 外部からの評価及び検証方法 - 導入前後の経過 - 議会運営に対する効果
	北海道 登別市	・ 登別ブランド推進事業について - 事業経過及びブランドイメージ - マーケティング及びセールスの特色 - 地域産業及び経済に与えた効果
3. 参加者	長廻利行 ・ 宮本 亨 ・ 保科 孝充 ・ 西村 亮 原 正雄 ・ 渡部 勝 ・ 山内 英司 ・ 玉木 満 計 8 名	
4. 添付書類	1. 行程表 2. 報告書 3. 資料	



行政視察行程表

ご縁の国しまね 縁結びのまち出雲

平成クラブ（出雲市議会）

No.	月日	行程	備考
1	7/8 (月)	出雲空港 → JAL → 羽田空港 7:45 276 9:10 - 10:30	
		JAL → 旭川空港 → 旭川トーヨーホテル 昼食 553 12:10 13:10 - 14:10	
		旭川市役所 → 旭川 IC → 札幌 IC 14:30 - 16:00 16:10 17:50	
		ホテルネッツ札幌 宿泊 18:00	
2	7/9 (火)	ホテルネッツ札幌 → 札幌南 IC → 登別室蘭 IC 8:30 8:45 10:00	
		登別市役所 → 室蘭プリンスホテル 昼食 → 室蘭 IC 10:30 - 12:00 12:30 - 13:20 13:30	
		伊達 IC → 洞爺湖有珠山ジオパーク → 伊達 IC 13:45 14:00 - 16:00 16:10	
		登別東 IC → 第一滝本館 宿泊 16:30 17:00	
3	7/10 (水)	第一滝本館 → 登別東 IC → 苫小牧西 IC 9:30 10:00 10:40	
		支笏湖 → 郷土料理ユック 昼食 → 新千歳空港 11:10 - 11:40 12:20 - 13:20 15:00	
		JAL → 羽田空港 → JAL 514 16:35 - 17:15 285	
		出雲空港 18:35	

※ 陸路の移動は全行程ジャンボタクシー

(所 感)

この度は会派、平成クラブに所属する8名で行政視察に出向しました。初日に訪れた北海道で2番目に人口が多い都市、旭川市では議会運営の評価及び検証について、視察しました。旭川市は、議会運営を議員が自己評価し、その評価を学識経験者が検証する制度を構築しておられます。外部の検証制度は他の自治体議会でも取り組み例がありますが、旭川市議会は過去に月刊誌で特集が組まれるなど、制度を有効に活用して議会改革を進めておられます。今回は、自己評価及び外部による検証方法、導入前後の経過に加え、議会の変化について、話を伺いました。

旭川市議会は2年で体制を一新していますが、任期に合わせ自己評価を行い、その自己評価を外部の有識者に検証を委ねています。過去の検証意見に「有識者だけでなく市民の目線を取り入れるべき。」との意見が付されたこともあり、公募制度も検討されましたが、他の有識者からは「検証内容を短期間でまとめるためには、議会に対する知見が不可欠である。」との意見もあり、現在も外部検証者は学識経験者が務めています。自己評価は、過去4回の検証から、目標を達成し削除された項目や、新たに盛り込まれた項目などありますが、評価項目は議会基本条例の条文毎に設けられています。平成30年度に出雲市議会内で行われた「議会基本条例検証」を発展させた内容の設問及び回答方法でした。現在は条文のみでなく、特別委員会の設置や議会全体で改善すべきことなども盛り込まれています。

開かれた市政に向けて導入された外部検証制度ですが、検証者を決めるのは会派代表者、検証の対応を行うのは、議会運営委員会の正副委員長のみという、限られた議員しか接点がないため、検証制度に対する意識差や温度差が課題であり、今後は研修会などを開催して、検証の説明などを行うことが制度を継続するために必要であると話されました。

効果が高かった点として、自己満足で甘くなりがちな自己評価が、外部からの評価により防げている点は、数字では表れない効果であると力説されました。さらに、市民に検証内容を伝えたい思いはあるが、意見交換会などを開催しても、参加者が限られるとの説明を受け、どこの議会も報告会や意見交換会の開催に苦慮しておられるのが分かりました。

2日目は旭川市から南へ約180km、外国人観光客で賑わう登別市を訪問し、登別ブランド推進事業について視察しました。登別市は年間400万人を超える方が訪れる観光地として、湯之国登別として有名ですが、RESUSによると2013年の地域経済循環率は55.0%。地域外からの流入も多いですが、地域外への流出はそれをはるかに上回ります。観光、温泉だけではもったいないと、商工会議所を中心に地元産業の活性化を図るため、平成21年に登別ブランド推進協議会を設立され事業に取り組んでおられます。ブランドの認定審査会などに、行政や議会が関わる隙はなく、商業者が非常に熱心に取り組んでいると説明を聞き、民間に活力、企業努力に勢いがあると感じました。ブランドの認定基準や行政の支援などに「出雲ブランド」と大きな差はないと説明を受けながら感じましたが、言葉の端々から伝わってくるのは、協議会を構成する民間企業の力強さでした。また、登別は地獄谷を有することから、鬼や閻魔をブランドイメージとして付与しており、具現化しやすいことも特徴の一つであると感じました。出雲市は現在、ブランドを付与するのではなく「出雲のブランド力」を生かすことを目的に「出雲ブランド」商品を認定していますが、さらに明確なブランドイメージを付与することも必要と感じました。おいしい出雲、御縁鮎などの取り組みも行われているため、統一した分かりやすいブランドイメージが付与されることが理想的であると考えます。

登別市での行政視察後「洞爺湖有珠山ユネスコ世界ジオパーク」を訪れました。洞爺湖ビジターセンターとは別に、有珠山頂へと続くロープウェイ周辺や、展望台が中心的なスポットとして整備されており、人気ジオサイトであることを実感しました。既に松江、出雲市ともにビジターセンターが開所していますが、ジオサイトが広範囲に点在する「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」で同様なスポットを考えた場合、決定まで難航することが予想されます。ジオパークの名前通り、地球の歴史を感じることができ、観光客のみならず、地元の方に愛着や誇りを持っていただける公園にしなければならないと感じました。

最後に、この度の行政視察に際し、議会事務局を始め対応いただいた多くの方に感謝を申し上げ、所感といたします。

令和元年 6 月 24 日

出雲市議会議長様

会派名 平成クラブ

代表者氏名 長廻 利行



視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	令和元年 8 月 7 日 ~ 令和元年 8 月 8 日 (2日間)	
2. 視 察 研 修 先 視 察 研 修 目 的	東京都中央区銀座 1-6-2 銀座 A ビル 3 階 ビジョンセンター東京有楽町	第 19 回「地方から考える社会保障フォーラム」の受講
3. 参 加 者	宮本 享議員 計 1 名	
4. 添 付 書 類	1. 行程表 別紙のとおり	



第 19 回地方から考える社会保障フォーラム研修行程表

第 19 回地方から考える社会保障フォーラムへの行程表（研修視察届）

8 月 7 日（水）

17 時 15 分 出雲空港発

18 時 40 分 羽田空港着 → モノレール浜松町駅着 → JR 新橋駅下車

宿泊：新橋第 1 ホテルアネックス

8 月 8 日（木）

会場：ビジョンセンター東京有楽町（中央区銀座 1-6-2 銀座 A ビル 3 階）

9:30 受付

10:00～11:30 講義 1 「少子高齢化社会における訪問看護の役割 — 被災地の経験をまじえて」講義・討論

11:30～12:30 昼休み

12:30～14:00 講義 2 「認知症対策 — その最新情報」講義・討論

14:10～14:55 聴いて得する社会保障

14:55 終了のあいさつ

15:00 終了

JR 有楽町駅 → 浜松町駅着 → モノレール → 羽田空港着

17:15 羽田空港発 → 18:35 出雲空港着

令和 2 年 3 月 25 日

出雲市議会議長様

会派名 平成クラブ

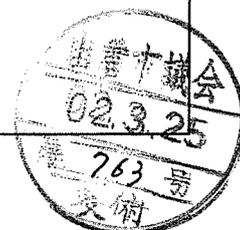
代表者氏名 長廻利行 

報告者 宮本享

視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日程	令和1年8月7日 ~ 令和1年8月8日	
2. 視察研修先 視察研修目的	東京都千代田区内神田2-5-3児谷ビル3F社保研ティラール内	第19回 「地方から考える社会保障フォーラム」
3. 参加者	宮本 享 計 1名 (他 名)	
4. 添付書類	1. 行程表 2. 報告書 3.	



(所 感)

第19回「地方から考える社会保障フォーラム」に参加した。

今回は「児童虐待」「空き家対策」「ごちゃまぜで進める地域包括ケア・地域共生社会」「少子高齢社会における訪問看護の役割」「認知症施策の総合的推進について」をテーマとして、慶應義塾大学特任教授やNPO法人代表、厚生労働省・国土交通省職員からの講義を受けた。

それぞれ出雲市にも関連するテーマで、とても興味深く聞くことができた。

キャンパスという訪問看護の活動は、ただ訪問看護サービスを行うだけでなく、ボランティアナースの会として地域に根差した活動を行い、その活動は全国各地に広がりつつある。

雲南市でもコミュニティーナースという活動を全国に広めているコミュケアという訪問看護がある。

出雲市でも、こういった看護やリハビリなどを通じて、地域に根差した活動が行えるようになると、地域包括ケアや市民の認知症予防の推進につながったり、空き家対策にも有効ではないかと思う。

高齢者に限らず、若い世代やその子供たちが、住み慣れた街で最期まで安心して暮らしていける”まちづくり”に取り組んでいきたいと思う。

令和元年10月18日

出雲市議会議長様

会派名 平成クラブ

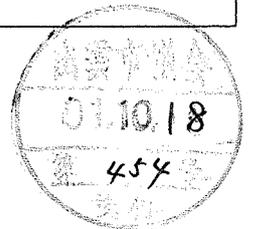
代表者氏名 長廻利行



視察研修について（届）

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日程	令和元年10月31日 ～ 令和元年11月1日（2日間）		
2. 視察研修目的	国土交通省・副大臣室	青木副大臣表敬訪問・国道9号線バイパスの片道2車線化について要望	
	国土交通省・水管理国土保全局長室	五道水管理国土保全局長(元斐伊川出雲河川事務所長)表敬訪問・斐伊川治水について要望	
	消費者庁長官室	伊藤明子消費者庁長官（出雲市出身）消費者行政について講演	
3. 参加者	長廻利行 西村亮 山内英司	保科孝充 原正雄 玉木満	宮本享 渡部勝 計 8名
4. 添付書類	1. 行程表(別紙1)		



平成クラブ研修行程表

・日 時 令和元年 10 月 31 日 (木)・11 月 1 (金) 日の二日間

・日 程

10 月 31 日 (木)

9 : 00 出雲空港 集合

9 : 35 " 発

10:50 羽田空港着

14:00 国土交通省青木副大臣表敬訪問・国道 9 号拡張他の要望書提出 場
所 国土交通省 (中央合同庁舎 3 号館)

国土交通省・五道仁美水管理国土保全局長表敬訪問 (中央合同
庁 舎 3 号館)

18 : 00 懇談会 場所 赤坂茶寮 (☎050-5232-4450)

細田先生・竹下先生・青木先生・舞立先生・三浦先生
伊藤長官・五道局長 以上 7 名出席予定

11 月 1 日 (金)

9 : 30 消費者庁伊藤明子長官表敬訪問・「消費者行政について」講演
場所 消費者庁 (中央合同庁舎 4 号館)

14:00 衆議院議員会館細田先生・竹下先生・参議院議員会館青木先生・
舞立先生・三浦先生表敬訪問 (衆参議員会館)

16 : 45 羽田空港集合

17 : 15 " 発

18 : 40 出雲空港着 解散・ご苦労様でした

令和元年11月 7日

出雲市議会議長様

会派名 平成クラブ

代表者 長廻利行



研修要望活動報告書

このことについて、下記により実施致しましたので届け出ます。

1. 日程	令和元年10月31日 ~ 令和元年11月1日 (2日間)
2. 研修先及び目的	10月31日 要望活動① 国土交通省・副大臣室、水管理国土保全局長室 国道9号(旧出雲バイパス)の4車線化実現と斐伊川治水について 青木一彦 国土交通省副大臣 五道仁美 国土交通省水管理国土保全局長 要望活動② 衆参議員会館 島根県選出細田先生・竹下先生・舞立先生・三浦先生 の4国会議員へ上記課題について要望した 11月 1日 消費者庁長官室 研 修 「地域の未来を創る消費生活」 講師 消費者庁伊藤明子 長官
3. 参加者	長廻利行 保科孝充 宮本 享 原 正雄 渡部 勝 山内英司 玉木 満 計 7 名
4. 行程	行程は次のとおり 10月31日 午前・出雲空港—羽田空港 午後・国土交通省・衆参議員会館要望活動 11月 1日 午前・消費者庁消費者行政研修 午後・羽田空港—出雲空港



5. 研修所感

10月31日

要望活動

地元出雲出身の青木副大臣に、国道9号（旧出雲バイパス）の4車線化実現について、要望書を提出し状況を説明した。すでに4車線化にむけての用地買収は、バイパス整備当初からなされており、からさで大橋も進入路の一部工事はされている。整備当時と比較すると現在の交通量は著しく増加しており、通勤時・祝日は慢性的な渋滞をきたしている。青木副大臣は、国直轄として国が予算化したとしても、県あるいは市の持ち出しがどうなるのか。あるいは原発事故時の避難道路としてどのような役割を果たすのか。調査する必要があるとのことであった。

五道仁美水管理国土保全局長には、斐伊川治水について要望した。上流部砂の流出、下流部砂の堆積した状況、台風18・19号時の大雨と斐伊川堤防の強度について説明した。約10年前に斐伊川河川事務所の所長として2年勤務された経験があり、よく把握されていた。

また県選出の議員には、議員会館において国道9号（旧出雲バイパス）の4車線化実現と斐伊川治水について実態を説明し要望した。

11月1日

研 修

出雲市出身の消費者庁伊藤明子長官から「地域の未来を創る消費生活」について直接研修を受けた。国会が空転したため休会であり、特に長官の国会出席はなかったが、研修中も頻繁に電話対応があり、忙しい状況が伺えた。

ネットショップでの契約、クリーニング・オフ、日本経済での家計消費、消費者・生活者の弱体化と多様化、人口減少社会における経済の動向等これからの消費者の課題について研修を受けた。今後、消費者特に高齢者を守るための、消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）の設置必要を訴えられ、印象深く聞いた。また、食品ロス削減と子供の貧困率（13.9%）など、日本人の消費に関わる課題を様々な角度から説明を受け、有意義な研修であった。

令和元年11月7日

出雲市議会議長 様

会 派 名 平成クラブ

代表者氏名 長廻 利行



視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	令和元年11月11日 (1日間)	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	国土交通省	<ul style="list-style-type: none">・ 中国横断新幹線 (伯備新幹線) に係る勉強会・ 青木一彦国土交通副大臣要望面会
3. 参加者	長廻 利行、宮本 享 計2名	
4. 添付書類	行程表 (別紙)	



中国横断新幹線（伯備新幹線）に係る勉強会行程表

・令和元年11月11日（月）

9:00	出雲空港国内線カウンター前集合
9:30	出雲空港発 日本航空278便にて羽田空港へ
10:50	羽田空港着 着後、モノレールにて浜松町へ
11:30頃～	昼食 浜松町
12:30	国土交通省へタクシー移動
14:00～15:20	中国横断新幹線に係る勉強会
15:30～16:00	国土交通省青木副大臣面会
16:20	浜松町へタクシー移動
16:50	モノレールにて羽田空港へ
18:30	羽田空港発 日本航空287便にて出雲空港へ
20:30	出雲空港着 解散

令和2年3月31日

出雲市議会議長 様

会 派 名 平成クラブ

代表者氏名 長廻 利行



視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日 程	令和元年11月11日（1日間）	
2. 視察研修先 視察研修目的	国土交通省	<ul style="list-style-type: none">・中国横断新幹線（伯備新幹線）に係る勉強会・青木一彦国土交通副大臣要望面会
3. 参加者	長廻 利行、宮本 享 計2名	
4. 添付書類	1. 報告書 2. 行程表 3. 参加者名簿	



(所 感)

青木一彦国土交通副大臣への要望面会の前段として中国横断新幹線（伯備新幹線）に係る勉強会に参加した。勉強会では、演題を「新幹線整備の現況と今後について」（講師：国土交通省 鉄道局幹線鉄道課 課長補佐 安江 亮 氏）として、全国の新幹線鉄道網の現状や新幹線鉄道建設の手続き、整備新幹線の整備方式などの説明を受けた。また、平成29年度より実施している「幹線鉄道ネットワーク等のあり方に関する調査」の平成30年度の調査内容・結果の説明を受けた。勉強会の講演終了後には意見交換を行い、新幹線整備に向けたこれまでの経過、活動の歴史に触れることもできた。

勉強会終了後には、青木一彦国土交通副大臣に面会し、中国横断新幹線に関する要望を行った。青木一彦国土交通副大臣からは、「整備実現のためには、行政・議会のみならず、経済団体など様々な団体を巻き込み、地域全体で盛り上げていくことが不可欠である。また、一体となって声を上げ続けることが重要である。」との話をいただいた。

出雲市までの新幹線整備については、結論が出るまで時間を要するであろうが、地域が一体となり、声を上げ続けていかなければならないと感じた。

中国横断新幹線（伯備新幹線）に係る勉強会行程表

・令和元年11月11日（月）

9：00	出雲空港国内線カウンター前集合
9：30	出雲空港発 日本航空278便にて羽田空港へ
10：50	羽田空港着 着後、モノレールにて浜松町へ
11：30頃～	昼食 浜松町
12：30	国土交通省へタクシー移動
14：00～15：20	中国横断新幹線に係る勉強会
15：30～16：00	国土交通省青木副大臣面会
16：20	浜松町へタクシー移動
16：50	モノレールにて羽田空港へ
18：30	羽田空港発 日本航空287便にて出雲空港へ
20：30	出雲空港着 解散

令和2年2月18日

出雲市議会議長 様

会 派 名 平成クラブ

代表者氏名 長廻 利行



視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	令和2年2月19日 ～ 令和2年2月19日 (1日間)	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	国土交通省 参議院議員会館	新幹線整備促進議員連盟による中央要望活動 ・青木一彦国土交通副大臣要望面会 ・西田昌司参議院議員要望面会 他 国会議員に要望面会
3. 参加者	長廻 利行 計1名	
4. 添付書類	行程表 (別紙)	



新幹線要望活動行程表 伯備新幹線整備推進会議

	時 間	場 所	内 容	備 考
2月 19日 (水)	-0850	出雲縁結び空港	各自移動（松江、出雲市）	JALカウンター前集合
	-0855	米子鬼太郎空港	各自移動（米子市）	ANAカウンター前集合
	0930-1045	出雲AP→羽田AP	空路移動（松江、出雲市）	JAL278便
	0925-1050	米子AP→羽田AP	空路移動（米子市）	ANA383便
		羽田AP→浜松町	モノレール移動	
		浜松町→国交省	タクシー移動	
	1200-1300	国土交通省食堂	昼食	
	1330-1345	合同庁舎3号館	青木国土交通副大臣要望面会	
		国交省→参議院議員会館	タクシー移動	
	1500-1520	参議院議員会館	西田昌司参議院議員要望面会	1110号室
	1530-1550	〇〇院議員会館	〇〇議員要望面会	
	1600-1620	〇〇院議員会館	〇〇議員要望面会	
	1630-1650	〇〇院議員会館	〇〇議員要望面会	
		→浜松町	タクシー移動	
		浜松町→羽田AP	モノレール移動	
	1830-2000	羽田AP→出雲AP	空路移動（出雲市）	JAL287便
	2005-2130	羽田AP→米子AP	空路移動（米子市）	ANA389便
		赤坂エクセルホテル東京	宿泊（松江市）	

令和2年3月2日

出雲市議会議長 様

会 派 名 平成クラブ

代表者氏名 長廻 利行



視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日 程	令和2年2月19日 ～ 令和2年2月19日（1日間）	
2. 視察研修先 視察研修目的	国土交通省 参議院議員会館	新幹線整備促進議員連盟による中央要望活動 ・青木一彦国土交通副大臣要望面会 ・西田昌司参議院議員要望面会 ・舞立昇治参議院議員要望面会 ・三浦靖参議院議員要望面会
3. 参加者	長廻 利行 計1名	
4. 添付書類	1. 報告書 2. 行程表 3. 参加者名簿	



(所 感)

中海・宍道湖・大山圏域への新幹線整備促進を求めるため、中海・宍道湖・大山圏域の5市議会にできている新幹線議員連盟として中央要望活動を行った。この度の要望では、中海・宍道湖・大山圏域の5市議会のうち松江市議会、米子市議会、出雲市議会の3市議会から17名が参加し、出雲市議会の新幹線整備促進議員連盟からは4名が参加した。

中国横断新幹線は、山陰新幹線とともに昭和48年に基本計画路線として閣議決定されたものの、未だ進展が見られず、都市部との格差が生まれていると考えられ、中国横断新幹線で山陰と山陽がつながることは、圏域の更なる発展と災害発生時の代替手段の確保にも大きく寄与するものである。

このことから、以下の4点の要望を行った。

1. 「中国横断新幹線」及び「山陰新幹線」を次期整備計画に位置付けること。
2. 新幹線整備に係る予算総枠の拡大を図ること。
3. 整備事業費の地元負担のあり方の見直しを検討すること。
4. 並行在来線を経営分離しないために必要な措置を検討すること。

青木副大臣からは、整備計画・着工に至るまでの課題や、他の路線の状況などを伺い、意見交換を行った。また、西田参議院議員からは「路線は国費で整備すべき」との考えを伺うことができたほか、舞立参議院議員、三浦参議院議員秘書からは、活動への支援の考えを伺うことができた。

今後も中海・宍道湖・大山圏域の5市議会で連携を取りながら、次期整備計画に位置付けられるよう積極的な活動を行う必要性を感じた。また、気運を醸成するためにも、県・商工会議所などとも連携を図っていく必要があると感じた。

新幹線要望活動行程表 伯備新幹線整備推進会議

	時 間	場 所	内 容	備 考
2月 19日 (水)	-0850	出雲縁結び空港	各自移動（松江、出雲市）	JALカウンター前集合
	-0855	米子鬼太郎空港	各自移動（米子市）	ANAカウンター前集合
	0930-1045	出雲AP→羽田AP	空路移動（松江、出雲市）	JAL278便
	0925-1050	米子AP→羽田AP	空路移動（米子市）	ANA383便
		羽田AP→浜松町	モノレール移動	
		浜松町→国交省	タクシー移動	
	1200-1300		昼食	
	1330-1345	合同庁舎3号館	青木国土交通副大臣要望面会	1300国土交通省守衛室前集合
		国交省→参議院議員会館	タクシー移動	
	1410-1415	参議院議員会館	青木一彦参議院銀事務所訪問	814号室、佐々木秘書
	1420-1430	参議院議員会館	三浦 靖参議院議員要望面会	811号室、事務所対応
	1440-1450	参議院議員会館	舞立昇治参議院議員要望面会	603号室、本人対応
	1500-1520	参議院議員会館	西田昌司参議院議員要望面会	1110号室、本人対応
		→浜松町	タクシー移動	
		浜松町→羽田AP	モノレール移動	
	1830-2000	羽田AP→出雲AP	空路移動（出雲市）	JAL287便
	2005-2130	羽田AP→米子AP	空路移動（米子市）	ANA389便
	赤坂エクセルホテル東京	宿泊（松江市）		